



国土と国民の回復、園と王座の確立 アブラハム契約・ダビデ契約

アブラハム契約・ダビデ契約

2016.10.5

■ アブラハム契約

- ・ 大いなる名 国に祝福と与える大いなる名
- ・ 子孫が増える (大いなる国民)
- ・ 地が与えられる (約束の地・カナン)

創.12:
創.15: 400年4代目
創.17:
創.22:

・ モーセの教え

→ 出エジプト ~ 申命記
シ記.民数記

■ ダビデ契約

- ・ 家を建てる 神殿
- ・ 子が王座を聖く立てる エルサレム

1歴.17: , 2サ.47:
1歴.22:
1歴.28:-29:

・ 預言者

→ 歴史書 ~ 預言書

・ 1歴.1:-8: ソドム ~ バビロン
・ 2歴.1:-9: 捕囚

出バビロン

・ 詩篇 (モーセ・ダビデ)

・ エズラ.ネヘミヤ
・ ヨシヤフ.ゼリムバベル
(ハガイ.ゼカリヤ)

アブラハムの契約とダビデの契約は、新約聖書側から見ても重大な、大きな2つの約束であると言えます。では、その約束は何だったかということです。

アブラハムの契約というと、一箇所だけでなく何箇所かで何度も言われています。

例えば〔聖書を見る〕創世記のハランから出たところ、創世記12章1節から3節「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」というところから始まります。

大いなる名など、これらをいくつかの部分に分けるかは、いくつかの箇所を見て考えなくてはいけません。

- ・ 大いなる名…国々に祝福をもたらす大いなる国になる。
- ・ 子孫が増える…大いなる国民になる。空の星、海辺の砂のように子孫が増える。
- ・ 大いなる国民になる。地が与えられる…(約束の)カナンの地が与えられる。

その箇所は〔聖書を見る〕創世記15章のところで、もう一度連れ出し契約を与えますよと言っているところに、(15:16)エモリ人の咎が…と言って、(15:18)「エジプトの川から、あの大川、ユーフラテス川まで。」と言ってカナン人の地の話があります。約束の地に入れますよということを言ってくれます。

国が偉大な国になって地が与えられるというのは、国の場所としてのイスラエルが与えられることがアブラハムの契約です。それは、創世記15章を見てもわかります。〔聖書を見る〕(15:13)「彼らは奴隷とされ、四百年の間、苦しめられよう。」そして出てくる、(15:16)「四代目の者たちが戻ってくる」という言い方がありますので、エジプトから連れ出されて約束の地に入るところで一度、アブラハムの契約が具体的にその段階で成就することとなります。

アブラハム契約、ダビデ契約. 2016.10.5

アブラハム契約 <ul style="list-style-type: none">・大いなる名 国に祝福と与える大いなる名・子孫が増える (大いなる国民)・地が与えられる (約束の地、カナン)	創1.12: 創1.15: 400年4代目 創1.17: 創1.22:	・モーセの教え → 出エジプト ~ 申命記 レビ記、民数記
ダビデ契約 <ul style="list-style-type: none">・家を建てる 神殿・子が王座を堅く立てる エルサレム	1歴17: , 24&27: 1歴22: 1歴28:-29:	・預言者 → 歴史書 ~ 預言書 ・1歴11:-18: ソドム ・2歴1:-9: ~ バビロン捕囚
出バビロン ・詩篇 (モーセ、ダビデ)	・エズラ、ネヘミヤ ・ヨシヤフ、ゼリババベル (ハガイ、ゼカリヤ)	

次にダビデの契約の方は、歴代誌やサムエル記に出てきますが、歴代誌で見てください。〔聖書を見る〕歴代誌第一16章17章。ダビデの契約というときには、ダビデが自分の家が平和になって建て上げられたのに、神様の家がない、神様の家を建てたいというところから始まります。

神様の名のつけられている家を建てたいと言ったことに対して、(神様は)あなたは建てません。あなたの子供、子孫が建てますと言われます。一つの家を建てます。その子孫が王国を堅く立てますと言われます。わたしは父となり子となりますという約束があります。神様の家を建てるといふことと、子が王座を堅く立てるといふエルサレムの神殿で成就する約束がダビデの契約ということですので、そのところを何箇所かで見てください。

アブラハム契約. ダビデ契約.

■ アブラハム契約 (国の再建. 復興の国)

- ・ 大いなる名 自ら祝福を授け大いなる国.
- ・ 子孫が増える (大いなる国民)
- ・ 地が与えられる (約束の地. カナ)

■ ダビデ契約 (都の再建. 復興の国)

- ・ 家を建てる 神殿
- ・ 子が王座を聖く立てる エルサレム

そうすると、アブラハムの契約は400年目という話がありましたように、国がもう一度土地が与えられて国が作り上げられていく、民が守られてカナンの地に入るという出エジプトから申命記までのところで成就する、モーセの教えのところで成就している。

今度は国が戻ってきましたので、その中のエルサレム、そして神殿、これがダビデの契約の約束です。その約束が成就するのがダビデとソロモンの時代ということです。

それは、最初にアダムが創造された時に、エデンの国がありました。その中に園がありました。それは、まるで約束の地とエルサレム、神殿という2つの違いがあるように、国がもう一度戻ってきたら、今度は特別に神様が住んでくださる園が必要であるというこの2つの段階があります。

出バビロン

・詩篇 (モーセ・ダビデ)

申30:1-4 連れ戻す

2歴6:36-39 捕囚の地へ

(1歴18:51 エジプトから連れ出しのうら)

(けれども) エルサレムを建ててくださったのに、残念ながらエルサレムがまた腐ってしまってバビロンに連れて行かれてしまったという流れです。詩篇のところに来たときには、バビロンから連れ戻された人たちが歌っていると考えると良いと思いますが、そうすると、アブラハムの約束が覚えられて、ダビデの約束が果たされてバビロンから連れ戻られたということです。

国の再建、エデンの国がもう一度作られる。都の再建、楽園がもう一度作られるということ。このバビロンから連れ戻されたという時代には、2つの大切な箇所があります。〔聖書を見る〕申命記30章1節から4節「私があなたの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことが、あなたに臨み、あなたの神、主があなたをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたがこれらのことを心に留め、あなたの神、主に立ち返り、きょう、私があなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、精神を尽くして御声に聞き従うなら、あなたの神、主は、あなたを捕らわれの身から帰らせ、あなたをあわれみ、あなたの神、主がそこへ散らしたすべての国々の民の中から、あなたを再び、集める。たとい、あなたが、天の果てに追いやられていても、あなたの神、主は、そこからあなたを集め、そこからあなたを連れ戻す。」と申命記の最後の方で約束してくださいました。

出バビロン

・詩篇 (モーセ・ダビデ)

申30:1-4 連れ戻す

2歴6:36-39 捕囚の地へ

(1歴18:51 エジプトから連れ出しのうら)

その約束を覚えて神殿を建てたソロモンが祈ります。ソロモンが神殿奉獻の祈りをする箇所は〔聖書を見る〕第二歴代誌6章36節から39節「彼らがあなたに対して罪を犯したため―罪を犯さない人間はひとりもないのですから―あなたが彼らに対して怒り、彼らを敵に渡し、彼らが、遠くの地、あるいは近くの地に、捕虜として捕らわれていった場合、彼らが捕らわれていった地で、みずから反省して悔い改め、その捕囚の地で、あなたに願い、『私たちは罪を犯しました。悪を行って、咎ある者となりました。』と言って、捕らわれていった捕囚の地で、心を尽くし、精神を尽くして、あなたに立ち返り、あなたが彼らの先祖に与えられた彼らの地、あなたが選ばれたこの町、私が御名のために建てたこの宮のほうに向いて祈るなら、あなたの御住まいの所である天から、彼らの祈りと願いを聞き、彼らの言い分を聞き入れ、あなたに対して罪を犯したあなたの民をお赦してください。」ここに地、町、宮、という順番があります。

このように、これは、はっきりと申命記の箇所を指して祈っているというソロモンの祈りになると思います。地に連れ戻す。そして、捕囚の地から新しく建てられた神殿、エルサレムの方に向かって祈るなら答えてくださるということ覚えてこの詩篇を編集されている。

モーセの律法とダビデの契約。アブラハムの契約という言い方ではなくモーセの教えとなっていますが、モーセの教えとダビデへの約束を覚えてこの詩篇というものが編集されているということを見ても、新約聖書から見た旧約聖書アブラハム、モーセ、ダビデ、イザヤ。モーセの律法、預言者、イザヤと書かれていることが成就するということの一致ももっとよくわかるかと思えます。